

東海第二原発再稼働反対！

東海第二原発は今年の11月には40年になるが、再稼働にむけて日本原子力発電（株）は「原子炉設置変更許可申請」「工事計画認可申請」「運転期間延長認可申請」を出しています。ピースサイクルの市民は再稼働反対の立場から東海村の職員と、日本原電の職員と、東海村住民と意見交換をしました。

東海村の防災原子力安全課長は、40年を更に20年延長することについて問えば「20年の再稼働をいいとも悪いとも言っていない。東海村として関心を持って原電の動き、規制委員会の判断を注視する」と言うだけ。避難計画ができていいのか？松戸市90km圏の避難などについてどう考えるか？と問うと国のマニュアルである「～5kmはすぐに避難。5km～30kmは一週間屋内退避。30km以上は指示なし」と言うだけで「原子力政策は一自治体でやれるものではない」と他人事。



「山田村長の再稼働の判断は①新規制基準の通過②避難計画策定③原発の安全協定（県・6市村と原電との間での）④住民の意見を聞いて」と東海第二原発の立地自治体としての立場を明確にしていけないのにはがっかりしました。前村上村長の示した“村としての脱原発の方向性”がかなりぶれてしまっているようです。

日本原電との話し合いでは、

新規制基準の中で①液状化対策として防潮堤の岩着支持杭により地下水の水位が上がってしまう問題②ケーブルを難燃ケーブルにするのは40%ぐらいであと防火シートなどでは危険なのでは？③緊急時対策所を免震構造にしていけないのは問題、と質問しても「大丈夫です」と言うだけで疑問への明快な説明はしませんでした（できないのか？隠しているのか？）。

又、「運転期間延長認可申請」をしているのに「会社は再稼働に言及していない」「20年延長を目指している事ではない。保全が可能かどうか申請しているだけ」と訳のわからぬ回答です。

具体的に20年延長の再稼働を目指しているのに、その意図はないと住民に誤ったメッセージを送る日本原電は何なののでしょうか？本当に意図が無いなら今すぐ廃炉を宣言すべきです。

地元の住民からは「避難計画の問題」「安全協定によってイエスを言わない権利ができた」事を十分に生かして再稼働に対していくと、其の反対の決意を聞くことができました。

「原発は原則40年で廃炉」をねじまげてまでして20年延長しようとする東海第二原発。90km圏内の千葉県からもはっきり再稼働反対の声をあげていきましょう。